

令和8年度 認定こども園概要 (令和7年10月1日の照会に基づく)

認定こども園名称		バンビの森こども園			
所在地・問合せ先		〒981-1104 仙台市太白区中田4丁目1番3-1号 TEL: 022-242-1178			

特別支援教育・保育			受入れの可否	応相談	
			方 針	こども同士が共に育ちあう環境を基本とし、こども集団の中で自立や社会性を育むことを教育・保育をおこなっております。集団での保育が可能なお子さんの受入れをしております。	
保育料等費用	無償化対象(※1)	保育料(月額)	全額無償となります。		
	無償化対象外(※2)	入園時費用			円
					円
					円
		その他月額費用	給食代	(3歳以上児のみ) 6,000 円	
			教材代	(3歳以上児のみ) 1,000 円	
			おむつ処理代	(該当児のみ) 300 円	
					円
					円
	その他費用	スポーツ振興保険掛金保護者負担金	年額210 円		
午睡マットリース料		(希望者のみ) 年額1,500 円			
預かり保育(1号認定)	早朝預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	月～金曜日 7:00～9:00(人数上限なし)		
		料 金(※3)	1時間 300円		
	通常日預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	月～金曜日 13:00～19:00(人数上限なし)		
		料 金(※3)	1時間 300円		
	休業日預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	土曜日及び長期休業日 7:00～19:00		
		料 金(※3)	1時間 300円		
	実施しない日	日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月7日)			
	新入園児の入園式前の利用(4月1日から)	可 慣らし保育の状況等をご相談の上お預かりいたします。			
	卒園児の卒園式後の利用(3月末まで)	可			
延長保育(2・3号認定)		実施日・時間・料金 受入可能年齢/月 齢	月～金曜日のみ実施 (標準時間認定) 18:00～19:00 (月額3,000円) ※1時間 延長は満1歳歳から利用可 (短時間時間認定) 7:00～8:30、16:30～18:00 3歳以上 児月額400円、3歳未満児月額1,000円		
◆◆幼児教育・保育の無償化について◆◆ ※1 保育料については、1号認定児は満3歳児クラスから、2・3号認定児は3歳児クラスから全額無償となります。 ※2 実費として徴収される費用(通園送迎費、食材料費、行事費など)は無償化の対象になりません。 ただし、年収360万円未満相当の世帯の子どもと第3子以降の子どもは、3歳児クラスから副食(おかず、おやつ等)費用の減免制度があります。 ※3 1号認定児の預かり保育の利用料は、施設等利用給付認定(新2号・新3号)を受けた子どもを対象に、利用日数に応じて日額450円(3～5歳児クラスは月額上限11,300円、満3歳児は月額上限16,300円)まで無償となります。 なお、2・3号認定児の延長保育料は無償化の対象外です。 ⇒ 詳細は、仙台市ホームページ「幼児教育・保育の無償化について」をご覧ください。 https://www.city.sendai.jp/nintechosa/mushouka_gaiyou.html					

児童の安全確保に向けた取り組み	年3回不審者侵入及び対応訓練や防犯紙芝居などを通して、職員及び園児の防犯対策技術及び意識の向上を図っております。					
卒園児の通う主な小学校	仙台市立 中田小学校、袋原小学校、柳生小学校、四郎丸小学校、東四郎丸小学校、大野田小学校					
職員の状況	施設長	1名	保育教諭	29名	保健師・看護師	0名
	栄養士	1名	調理員・用務員	5名	事務員	0名
	バス運転手	0名	清掃員	0名	合計	36名
乳児保育事業	実施の有無	あり				
	乳児受入月齢	生後4か月より受入れをしております。				
	乳児保育に関する特記事項	・温かく応答的な保育や声がけを行う中で、子どもの自己肯定感を高めるような保育を行っております。また、午睡中にSIDS予防のチェック表により確認し、事故を防ぐ環境構成に取り組んでいます。				
園庭遊具	・ 大型築山 ・ 移動式鉄棒 ・ うんてい ・ 水遊び用井戸 ・ 砂場 ・ 展望デッキ					
その他(特色など)	『見守る保育』(子どもの力を引き出す保育) 保育士は子どもに対して介入のタイミングをよく考慮し、子どもの主体性を尊重しながら適切に援助します。子どもが自ら考え問題解決したり子ども同士の関係を強める機会を多く作ります。 『異年齢保育』 0, 1歳や3, 4, 5歳などの異年齢でのクラスで保育を行います。 『チーム保育』 どのクラスも複数の保育士が子どもたちを見ています。子どもたちが様々な保育士と関わることができ、保育士たちの様々な視点で子どもの成長発達を援助します。 『ゾーン保育』 テーマごとにゾーンを作り遊具などを置いています。子どもたちの自主的な遊び(学び)を支えるために、子どもたちがやりたいことに熱中する場所を用意します。 『様々な形の保育活動』 年齢別の活動だけではなく習熟度別や選択制なども取り入れてます。子ども一人ひとりの発達にあった活動を行い、子どもの意欲を引き出すよう工夫し、成長発達に見合った適切な援助を行います。 『3, 4, 5歳児給食はセミバイキング方式』 自分で食べられる量を相手に伝え自分で配膳を行います。自分で量を決めることで苦手な物でも食べられるようになったり、自分で食べられる量を知り、相手に伝える力を育んでいます。 『壁がなくオープン』 部屋を分ける壁を少なくしてオープンスペースにしています。クラスを越えて友だちや保育士の関りや子どもたちの活動が広がります。 『遊ぶ、食べる、寝るを別々のスペースで』 子どもたちそれぞれの生活リズムやペースを保障します。情緒の安定が図られ子どもたちがより主体的になります。 『起伏にとんだ地形や木製の遊具や井戸を配置した学びの園庭』 園庭には山を設置し、四季折々の樹木や井戸(水の流れ)など自然を多く取り入れています。子どもたちの体作りを促し五感に働きかけています。					